



みんなでつくる自由な遊び場！ プレイパーク



みなさんはプレイパークをご存じですか？

プレイパークは子どもたちが自分で遊びを見つけ、創り出すことができる遊び場。プレイリーダーと呼ばれるスタッフが常駐し、遊びを見つけるきっかけや環境づくりをしています。

2023年10月からは多賀城市と利府町にまたがる加瀬沼公園に「加瀬沼公園プレイパーク」が開設されました。県内で子どもの遊び場づくりに取り組むNPOが実施運営し、休日を中心に不定期で開催しています。

子どもたちが遊ぶかたわらで、拾ってきた枝や落ち葉で工作を始めるプレイリーダー。大切にしているのは、子どもたちに対して遊びを指導しないということ。場のつくり方やプレイリーダーの動き方で、子どもたちが自主的に考え、自由な遊びが生まれるよう工夫しています。

担当の廣川和紀さんは「昔と違い、今は遊ぶ場所が決められているように感じます。公園は禁止事項などの制限があるため外で思い切り遊ぶ場所が少なくなっています」と話します。「プレイパークを定期的に開催することで、繰り返し来てくれる人を増やし、スタッフだけでなく子どもも大人もみんなで一緒につくる“居場所”になってほしいです」と、子どもの遊び場の姿を描いています。



↑ 幼児がくつろぎながら安心して遊べるスペースもあります。



↑ 大人も子どもも工夫しながら一緒に遊びます。

加瀬沼公園プレイパーク

運営：冒険あそび場ネット・プレーワーカズ共同事業体
(NPO法人冒険あそび場せんだい・みやぎネットワークと
一般社団法人プレーワーカズが共同して実施)

TEL：022-264-0667

主催：宮城県

運営などのボランティアを募集中！

開催日程はこちら
(宮城県ホームページ)





必要としている人へ橋渡しするポスト

県内に24カ所設置されている学生服リユース Shop さくらや仙台店の「制服回収ポスト」。
そこには、子どもたちと明るい未来を見つめていきたいという想いが込められています。

リユースの制服に託した想い

学生服リユース Shop さくらや仙台店が2021年7月に始めた「制服回収ポスト」。サイズが合わない、卒業して着なくなったなどの理由で不要になった制服や体操着を回収し、再利用することを目的に設置されています。ポストに寄せられた制服は、リユース品として販売されたり、学校のバザーなどに提供されるほか、さくらや仙台店のスタッフによる査定額が、子どもの支援を行っている団体の活動を支援するために創設された「こどもの未来応援基金」に寄付されます。

取り組みがスタートしたきっかけは、「制服を捨てるのは忍びない」「誰かに着てもらえるなら活用してほしい」という声が数多くあったことでした。投函された制服には、手紙が添えられていることもあり、中には「コロナ禍で楽しみがほとんどない高校生活でしたが、病気やけがもなく3年間を過ごせた制服です。ボタンタッチで使う生徒さんは素敵な3年間を送ってもらいたいです」という気持ちも寄せられています。



↑投函された制服は1着1着丁寧に査定されます。(さくらや仙台店提供)

子どもたちの未来のために

ポストの設置には、「こどもの未来応援国民運動」を広く周知したいという想いもあります。この取り組みは、2015年に政府が始めた官民による協働プロジェクトで、子どもの貧困や格差を解消することを目的に、支援したい人や企業とNPOを結びつけるなど、社会全体で解決を進める取り組みが行われています。さくらや仙台店店長の片浦さんは、「生活困窮家庭が、支援を求める声をあげられる場所、環境が必要だと思います。制服回収ポストがその一助になれば」と話します。他にもフードボックスの設置や、給食の無償化の署名活動も行っているさくらや。新たに岩沼の支援学校との合同で、家庭で不要になったタオルの寄付を募り、雑巾に作り直して宮城県のすべての小学校に届けるプロジェクトもスタートしました。

「未来を担う子どもたちの力になりたい」という想いがこめられた制服回収ポスト。不要なもの、使わなくなったものでも、誰かの役に立つことがあります。リユースという形の寄付が、子どもたちの未来を照らす小さな光になるかもしれません。



↑多賀城市役所に設置してあるポスト。

ポストの設置場所・
投函時の注意事項は
こちら



「tag」とは

「tag」には、多賀城(tagajo)」の頭文字3文字、みんながタグを組んで地域をつくる、多賀城に新しいタグ(価値)をつける、という意味が込められています。



ホームページ



ブログ

アンケート

誌面づくりの参考にしたいと思いますので、ぜひご協力をお願いします！



- ・自分たちの団体を取材してほしい
- ・こんな話題を取り上げてほしい
- ・ユニークな活動や地域のために頑張っている団体・人を知っている